

御製 五首

平成十二年

オランダ訪問

若きより交はり来しを懐かしみ今日オランダの君を訪ひ来ぬ

スウェーデン訪問

高齢者の施設を訪へば日本語にて汝が国に住みしと語る人あり

母君みまかりまして

あまたたび通ひし道をこの宵は亡き母君をたづねむと行く

三宅島噴火

火山灰ふかく積りし島を離れ人らこの冬をいかに過さむ

那須にて

父君の愛でまししとふ小深堀のあさまふうろを見むと出できぬ

第五十一回全国植樹祭

大分県

植樹祭の大野の空は晴れわたりぶんごぼだいじゆの一本ひともとを植う

第二十回全国豊かな海づくり大会

京都県

我が妹いもが丹後の海に放ちゆくあかあまだひの色さやかなり

第五十五回国民体育大会秋季大会

富山県

雪となり花とはなりて富山なる競技場うま埋め人ら踊れり

皇后陛下御歌 三首

平成十二年

香淳皇后御舟入の儀

現し世にまみゆることの又となき御貌美し御舟の中に

草道

幼な児の草ふみ分けて行きし跡けもの道にも似つつ愛しき

眞子、佳子両内親王さまが御所のお庭でお遊びになっておられる様子をご覧になって、お詠みになったもの。背の高い草をかき分けてお子さま達がお通りになった跡が、動物たちの道あとを思い起こさせ、小さく、傷つきやすいものへのいとおしさをおぼえられた、という。

オランダ訪問の折りに

慰霊碑は白夜に立てり君が花抗議者の花ともに置かれて

両陛下下の慰霊碑へのご供花のあと、戦争被害者の一群が白い菊を一輪ずつもって行進を行い、その花を慰霊碑の柵のまわりに立てかけて帰った。両陛下はその夜遅くご宿舎にお帰り後、窓から見える慰霊碑の元に昼間陛下がお供えになった花輪と、更にその下段には、夕方になり柵の中に運び入れられた白菊も並べられて、白夜の光の中に浮かんでいる様を感慨深くご覧になったという。